岩下議員（民主県政会）

平成 28 年２月 29 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）グローバルリーダー育成校卒業生の進路について

卒業生の進路についての最終目標は，グローバルに活躍できる人材へ育て上げることであるが，高校卒業時点においては，一般的には，大学やその後の大学院を見据えた姿が確立されている必要がある。

教育長は，先日の定例会で，進路目標について，「どこかの大学に入学することではなく，生徒が考える方向に進めたかどうかが評価ポイントである」と答弁したが，一方で，知事は，「国内外の様々な大学や国際機関も含め，ネットワークを構築していくことがより重要」と答えている。ネットワークを構築していくことの中には，大学との連携，そして，その大学へ進学できるとの期待が膨らむものと推察する。

１２歳の子を６年間送り出すことになる家族の心情を考えると，その部分が不明確なままでは学校選択の決断が難しいと考える。

グローバルリーダー育成校卒業生の進路に，大学との連携をベースとした進路先の確保も含まれているのか，教育長に伺う。

（答）

グローバルリーダー育成校では，育成すべき人材像として，「グローバルな視野を持ちながら，国際社会・地域社会の持続的な平和と発展を牽引できる人材」と考えております。

今後，このような人材の育成に取り組んでいる国内外の大学などと，しっかりとしたネットワークを構築し，生徒が希望する進路を実現できるように取り組んでまいります。